

(平成20年度実施事業)

事業評価表

事業CD. 0110503 - 03020

京都府南丹市
作成日: 平成21年05月07日

事業名	施設管理運営費	事業運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等	所管部署名等
細事業名	図書館システム等	委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 外郭団体 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 教育機関 <input type="checkbox"/> 自治会・地縁団体 <input type="checkbox"/> その他 ()	教育委員会 社会教育課 担当: 大西
事業区分	事業分類: (C) 施設管理費 <input type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 時限事業 (平成 年度迄) 政策体系CD: 131	関連法令・条例等	図書館法、南丹市図書館設置条例	

【事業の概要】

- ①施策で目指す目標との関連付け
図書館運営の根幹であるシステムの保守管理を行い、市内4施設及び京都府内の図書館との連携を図り、円滑に図書館運営を行う。
- ②事業を実施する必要性
資料の貸出・返却から、利用者管理・蔵書管理など図書館運営は図書館システムにより管理しており、システム保守管理が必要であるため。
- ③未実施事項
現状システムで、インターネット予約サービスを実施することは可能であるが、インターネットの環境のある市民のみが恩恵を受けるだけでなく、電話予約サービスを実施しなくてはならない状況になれば、現状の図書館職員だけでは円滑な運営ができなくなるため、実施を見送っている。
- ④他にも効果が見込める施策があるか
システム統合により、年間経費の削減にはなったものの、それでも年間経費が多額のため、年間保守契約ではなくスポット対応での契約も視野に入れて検討する余地はあるものとする。

【事業費の推移】

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21予算	平22計画
決算額または計画額	千円	2,635	1,283	2,437	2,315	2,200
うち一般職、嘱託職、臨時職給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
一般財源	千円	2,635	1,283	2,437	2,315	2,200
職員等従事人員	人/年	—	—	0.35		
人件費	千円	—	—	1,065		
事業費総額	千円	—	—	3,502		

【主な支出の内訳】

- ・ソフト及びハード保守料金 (4施設分) 月額162,750円×3ヶ月
- ・ソフト及びハード保守料金 (4施設分) 月額216,510円×9ヶ月
年間支払い金額

【近隣市町村の取り組み状況】

- ・近隣自治体A (6施設) 年間保守料金 3,494千円
- ・近隣自治体B (3施設) 年間保守料金 2,030千円

【前年度の評価を受けて改善した点等】

業者との折衝により、年間保守金額の減額に努めた。

【所属長総括評価】

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
システム導入によるメリット (市内4施設や府内施設との連携) を活かした図書サービスの展開。
- ②当該事業のアピール事項
図書システムの年間保守金額について、業者との折衝により減額に努めた。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
さらなるサービス向上を図る。

事業活動記録

平成20年度実施事業

政策体系CD	131	事業名	施設管理運営費		
事業CD.	110503-03020	細事業名	図書館システム等		
所管部局	教育委員会	所管課	社会教育課	担当	大西 敏之

110503-03020

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
現状	<p>図書館システムの納入業者であるNECと連携し、図書館システムの円滑な稼働を行っている。</p> <p>19年度より全館で運用している新しい図書館システムも1年を経過し、導入当初は操作方法の不慣れや、小さなトラブルも生じたが、現状では図書館職員も操作に慣れ円滑に運用されている状況である。</p> <p>NECより定期的に、システムに対する微調整や不要データの処理を行うとともに、図書館側からの要望に対して、可能な限りのカスタマイズを行っている。</p> <p>図書館システムにおいては、約19万点に及ぶ資料のデータだけでなく多くの市民の個人情報も扱っているため、安全で円滑なシステム運用に努める。</p>	不定期	円滑なシステム運営が行われている